

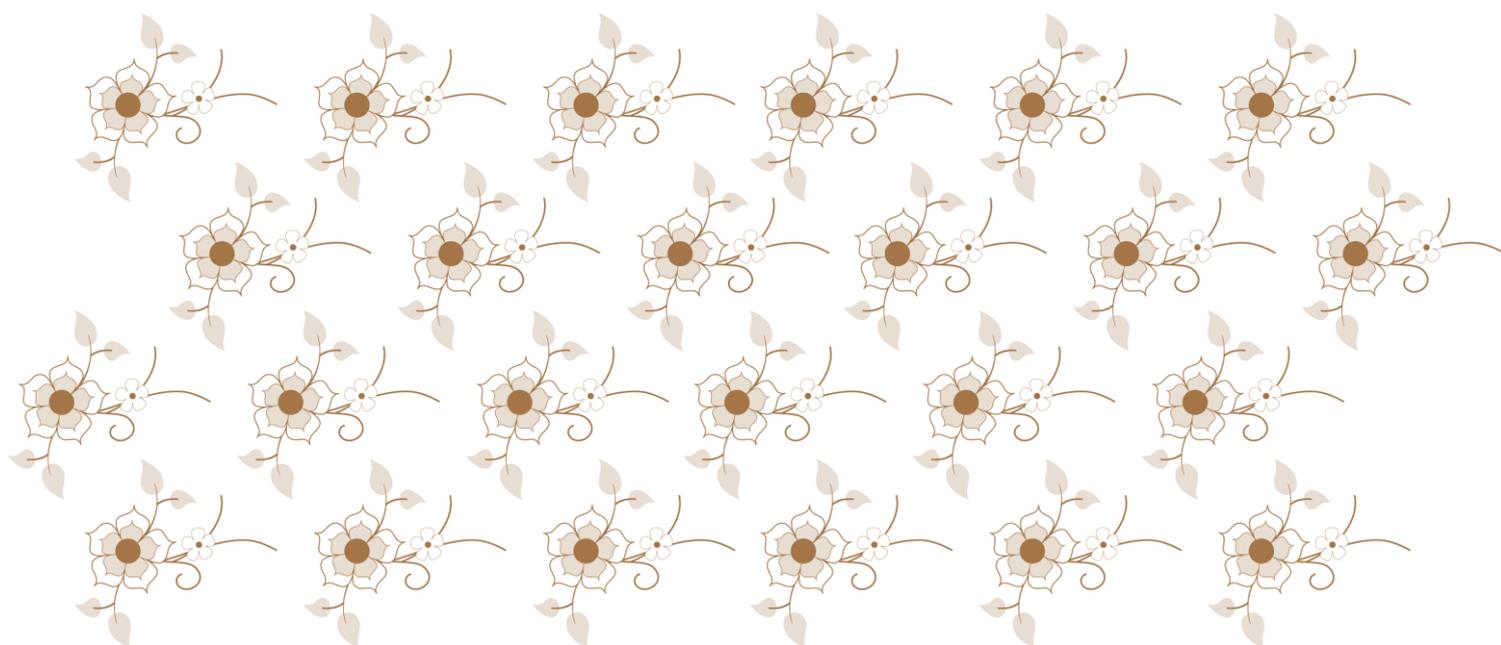


第2回

平成 25 年度

# 入賞作品集

読書感想文コンクール





目次

◆読書感想文部門

優秀賞

試練

生活学科 食生活専攻二年

三浦歴遊 …… 4

奨励賞

ホームレス中学生

生活学科生活創造デザイン専攻二年

青山春美 …… 5

星の王子様

生活学科生活創造デザイン専攻二年

岡村麻衣 …… 7

美輪明宏のおしゃれ大図鑑

生活学科生活創造デザイン専攻二年

小澤 愛 …… 8

残り全部バケーション

生活学科生活創造デザイン専攻二年

竹内菜緒 …… 9

◆読書感想画部門

優秀賞

93番目のキミ

生活学科 食生活専攻二年

神谷咲希 …… 12

奨励賞

神様のカルテ

家政学部食物栄養学科一年

大嶋悠生奈 …… 14

午後には

生活学科生活情報専攻二年

川井なつみ …… 16

なにも言わない優しさ

生活学科生活情報専攻二年

佐藤真奈 …… 18



讀書感想文

部門



優秀賞

## 試練

読んだ本



『神様しか知らない秘密』

小林深雪著

生活学科食 生活専攻二年 三浦歴遊

「人には誰しも試練が与えられる。だけど神様は絶対にあなたが乗り越えられない課題は与えない。」

普段何気なく送っている生活の中でいきなり亀裂が入った時、人は誰でも戸惑うでしょう。これを一つの試練と思ってどれだけの人が立ち向かえるか。私自身、主人公の芽映と同じ立場になった時、起こった事実を目を背けず、どこまで立ち向かえるか。色々なことを考えさせられる一冊でした。

「試練」といつても、それは人それぞれ多種多様なものです。人にとつたら大したことじゃなくても自分にとつたら凄く重要なことだったり、逆なこともあるでしょう。芽映に与えられたのは、父の会社の倒産、それによる両親の別居、大好きな友達と別れなければいけない引越、そしてなにより十年間つづけてやっと勝ち取ったバレエの主役の舞台でした。何も考えてなかった日常に突然こんな多くのことが起こって戸惑わない人はいないはず。

だけど試練は人が自分を磨き大切なことを見付けて輝くためにとっても大切なことでなくてはならないもの。私自身、今まで多くの試練が与えられてきました。その一つ一つを振り返ってみると与えられた試練を乗り越えた時、たしかに今まで見えていなかったことが見えてきて、その過程を経験したことで自分に自信がもてるようにもなりました。傷つくことで人の痛みも知ることができ人に優しくできる。新しい自分を見付けることができる。

芽映も自分が何がしたくて、何が重要で、何が大切にしなければいけないかに気づき、彼女なりの答えを出して今まで目を背けてきた問題の解決口を見付けていきました。家族の絆の大切さ、舞台は諦められるけどバレエは続けたい。新しい場所に行くことはきつともっといろんなことを知るために大切なこと。芽映の出した答えに私はとても感動しました。



奨励賞

## ホームレス中学生

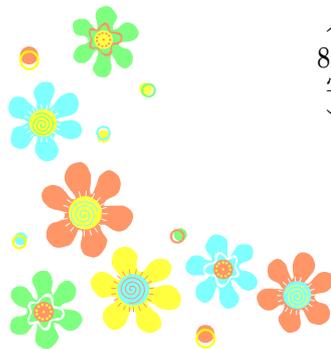
読んだ本 ◆ 『ホームレス中学生』 田村裕著

生活学科 生活創造デザイン専攻二年 青山春美

私が薦める本はホームレス中学生です。この本のお話は、作者にあたる田村裕さんが中学生の時に実際に体験したことを書き記したものです。中学生時代の少年、田村裕さんは、ある日、父親に「解散!!」という一言を聞かされ、突然住む家を無くしてしまう。近所の公園に一人で住むようになるリアルストーリー。つまりホームレス生活。自動

来年から私は社会人になります。きっと沢山の挫折を経験することになると思いますが、自分に必要な試験だと思って一つ一つ乗り越えていけるように頑張ります。新しいことが始まるうえでとても勇気を得られる一冊でした。

(843字)



販売機や道端で小銭を探し回り、ダンボールで飢えを凌ぎ、ハトのエサであるパンくずを拾い集めたりするほど、過酷な食糧調達を来る日も来る日も繰り返すという極限状態の中、いつも遠くで見守ってくれていた母、兄と姉に支えられながら懸命に生きていく姿を感じることができる作品で、人々の温かさに触れながら、人として大きく成長するお話、笑えて泣けるお話です。

私がこの本の中で感じたものはたくさんありますが、一番考えさせられたのは食糧です。私たち日本人のほとんどの方は、食べ物を食べたいときに食べることができません。しかし、空腹でありながら食べるものがなかった田村さんは空腹を紛らわすため、満腹感を感じるためと、お米を何百回も噛んで、今までには感じられなかった、お米のふわっとした甘さを感じることができました。この味は『味の向こう側』と名づけられましたが、私にはこの味を感じることができませんでした。それほど、私たちは食べ物に飢えていないという証拠であり、私たちはもつと食糧について考えなければならぬと思いました。食卓でテーブルを囲んで食べる白ご飯一杯のありがたみや、揚げたてコロツケのありがたみ、手作り味噌汁のありがたみなど、食に関して、住居に関して、家族兄弟に関して、友達に関して、自分に携わってくれるほぼ全ての方に関して改めてありがたみを感じさせてくれる作品だと思いました。

興味がある方は、ぜひ一度読んでみて下さい。

(757字)



奨励賞

## 星の王子様

読んだ本



『星の王子さま』

サン・テグジュペリ 著

生活学科 生活創造デザイン専攻二年 岡村麻衣

私がこの本を読むきっかけとなったのは、インターネットでオススメ本として紹介されていたからです。そこには、フランスの作家サン・テグジュペリが書いた童話で一九四三年に初めて出版され、全世界で八〇〇〇万部、日本では六〇〇万部が売られているベストセラーと紹介されていました。

言葉も内容も一見簡単そうでいて、サン・テグジュペリの全生涯、全作品を核とし、しかも第二次大戦中の亡命先のアメリカで執筆されたという遺作とのこと。一つの話にいくつもの意味がこめられ、「心で見なくちゃよく見えない。大切なことは日には見えないんだよ」など物語にかくされたメッセージを読み解く面白さがそこには書かれています。

これを読んで、仲良くなることは、あるものに対して他よりもずっと時間をかけ、他とは違う特別なものになることと思えました。

別れの悲しさを前に「相手を悲しくさせるのなら、仲良くなかならなければ良かった」と思う王子に、「黄色く色づく麦畑を見て、王子の美しい金髪を思い出せるなら、仲良くなった事は決して無駄なこと、悪い事ではなかった」とキツネは答えました。別れ際、王子は「大切なものは、日に見えない」という「秘密」をキツネから教えられ



奨励賞

ました。正直、難しい話ですが、すべて読み終わったあと、なんともいえない感じが残る本でした。

初めて読んだ時にはなにも感じなかったですが、印象の深いページを何度も何度も読み返してみると、実は簡単そうに見えるこの本の深さが少しずつ分かってきた気がしました。

ごくありふれたもの、いつも水や空気のようにあるものの中に、大切なものがあるんだなあと思いました。また大切なものだからこそ埋もれやすいものと感じました。

読めば、読むほどいろいろな発見があり、面白かったと思います。また、大人になってからこの本と再会したとき、同じように発見があり、また同じように大切な何かをこの本から学べるような気がしました。

心で見なくては、ものごとはよく見えないという言葉信じて、また王子さまとの再会に備えて、自分の心を育てようと思いました。

(859字)

## 美輪明宏のおしゃれ大図鑑

読んだ本 ◆ 『美輪明宏のおしゃれ大図鑑』 美輪明広著

生活学科 生活創造デザイン専攻二年 小澤愛

この本は美輪明宏さんの考えるおしゃれの方法が書かれた本です。美輪さんといえば黄髪ロングヘアの不思議な容姿を思い浮かべる人が多いと思います。しかし、美輪さんは昔はとても綺麗な人で、小説家の三島由紀夫が「天上界の美」と絶賛するほどの美貌を持つ美少年でした。



## 奨励賞

# 残り全部バケーション

読んだ本

◆ 『残り全部バケーション』

伊坂幸太郎著

生活学科 生活創造デザイン専攻二年 竹内菜緒

まず初めに、何故この本を読もうと思ったのか。「残り全部バケーション」の作者、伊坂幸太郎の作品は今

”美しいものに囲まれていれば、その人は自然に美しい人になれます“アール・デコが流行していた昭和初期の長崎で育った美輪さんは美しいものやロマンティックなものが好きで、部屋をアール・デコ様式にアレンジして住んでいたといいます。美しいものに囲まれることで幸福感に満たされ毎日楽しく過ごせると思います。

美輪さんのいう「おしゃれ」とは、単にうわべをとりつくることではなく、美しく装うことでより良い自分と出会い、美意識に磨きをかけていくプロセスのことです。ファッションだけではなく、言葉遣いや会話のセンス、本、映画、絵画、芝居、音楽、インテリアにいたるまで。日常の中から美しいものを見つけることで、人生がより豊かで楽しいものになると思います。この本には美輪さんオススメの映画や舞台が書かれていますので参考になります。中原淳一やルネなどのイラストや写真も多く紹介されているので眺めるだけでも面白いと思います。音楽家のフジ子・ヘミングとの対談も書かれています。主に昭和の日本のおしゃれについて書かれているので昔を振り返りたい人にもオススメです。音楽の趣味や香水の好みなどは人それぞれなのであくまでも参考にする程度で良いと思います。

美意識を高め素敵な人になれるように頑張ろうと思わせてくれる本です。

(667字)

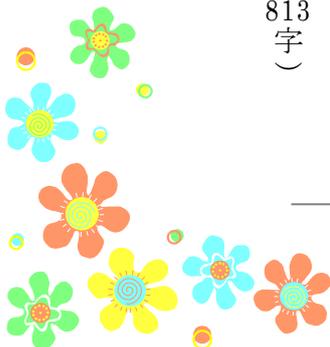
までに何作か読んでいても面白かったのでこの本が出たときも、読んでみようと思ったからだ。

この作品は、五編からなる連作小説集だが、一編一編が少しずつ交錯しながらつながつていくから読んでいて面白い。「溝口」と「岡田」という裏稼業のコンビが中心となり、話がすすんでいくが、やはり世の中の的には、二人はちんぴらで悪人という立場なのだろうが、どこかにくめなくて優しく人間らしい部分が見えてくるのがとても良かった。現実離れしていそうでいいような、非日常なのかそれとも日常的なのか、そんな考えをおこさせるストーリーだと思った。一編一編それぞれこの後どうなるのかと考えさせるような余韻のある終わりがたをしているので読みおわっても伊坂ワールドにひたっている気分になった。軽妙な会話、印象に残る言葉は、物語、本を読みすすめるにあたってとても面白味があるなあと感じた。

そのような会話や言葉を読み拾っていくにあたって、登場してくる人物に魅力を感じていく。この作品に出てくる人物は、個性豊かで変だけど憎めない。それがまたいいと思う。また、その短編一つ一つ、それぞれの視点から物語が語られ、時空間を超えて語られ、細部に伏線がはられている。伏線がはられているといっても、今までの他作品より、肩の力が抜けているような気持ちのいい軽さの物語だったと思う。ただ単純に読んでいて、面白いという感情がその証拠にすらすと読めた。ラストは、ここでおわるの？って思う終わり方だったが、本当にスパンと終わって、読者に結末を考えさせるのだが、それでああだのこうだのと言うのも楽しいなと思う。

なんととっても、題名の「残り全部バケーション」っていうのが魅力的。夏休みはもうすぐ終わってしまうけど、「俺の人生、残りは夏休みだ。宿題なしでな」という言葉にグッとくるものがあつた。

( 813 字 )



讀書感想画

部門



優秀賞

## 93 番目のキミ

読んだ本



『93 番目のキミ』山田悠介著

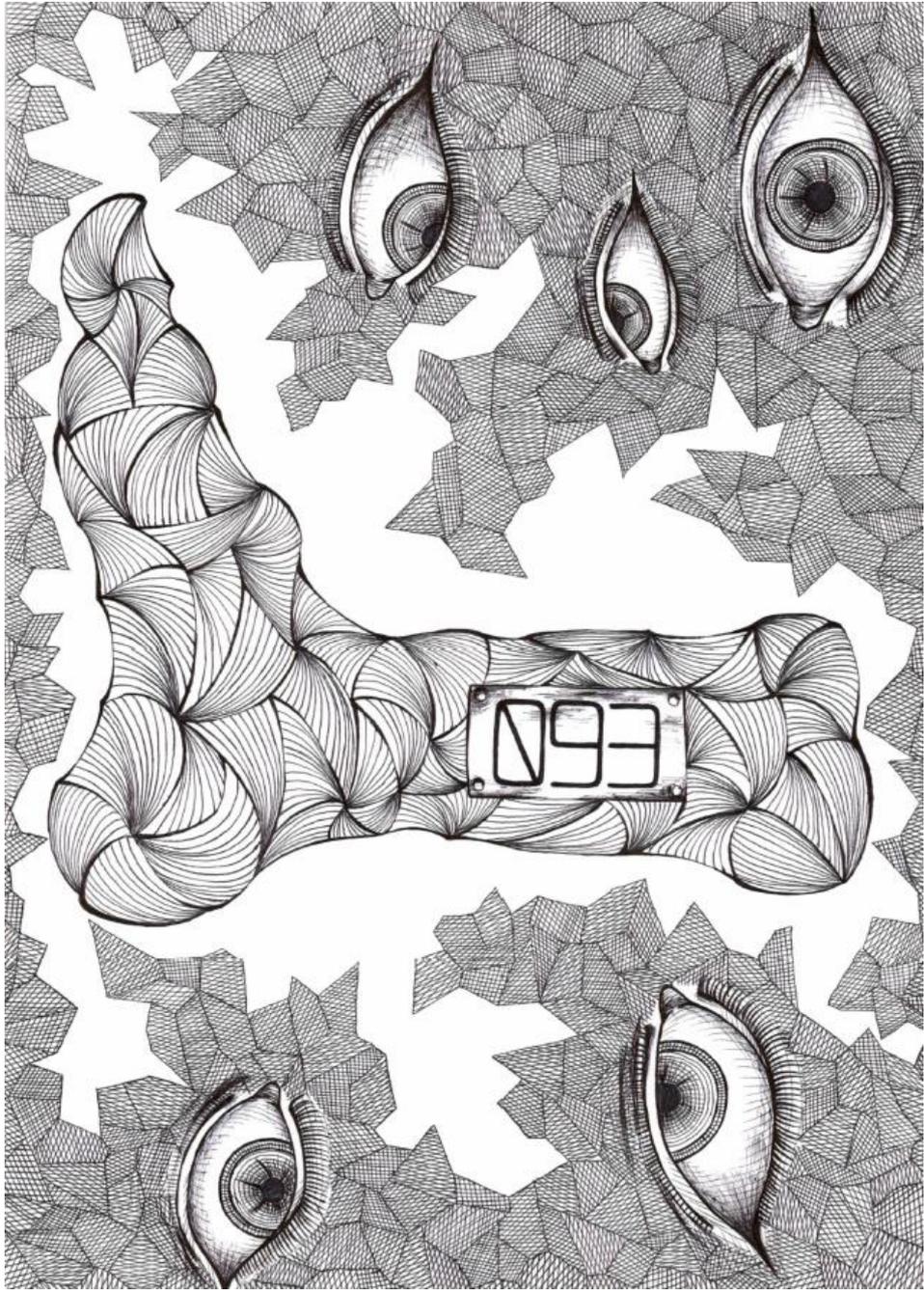
生活学科 食生活専攻二年 神谷咲希

「相棒アプリ」という機能によって人間のように心が宿り、感情を抱き、日々学習していくことで自分で考えて独自の判断、行動ができるようになる「スマート・ロボット」。

93 番目の「カレ」を購入した主人公がある姉弟との出会いやロボットとの生活による信頼関係を通して気持ちが変わっていくのが、とても伝わってきました。

最初はロボットに対して興味を示したり、温かく接してくれた者もある事件によって怖がったり、冷ややかな目で見たりなどひどい扱いをされてしまいます。その人々の目が読んでいて一番印象に残っています。しかし、どんなに辛くても必死に生きようとしている姿や、「カレ」自信の強い思いから起こした最後の行動に感動しました。





「93 番目のカレ」 神谷咲希



奨励賞

# 神様のカルテ

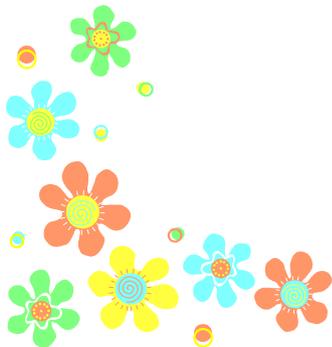
読んだ本



『神様のカルテ』夏川草介著

家政学部 食物栄養学科一年 大嶋悠生奈

患者さんと、患者さんの死としつかり向き合おうとする医師・一止の姿にとっても感動しました。また、そんな一止を影で支える妻・ハルさんの優しさに心温まりました。





「神様のカルテ」 夏川草介



奨励賞

## 午後には

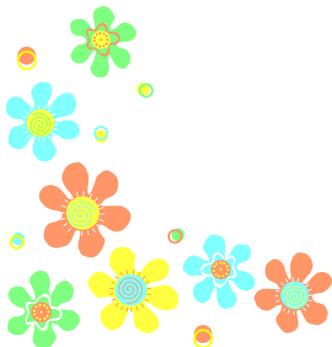
読んだ本



『午後の恐竜』星新一著

生活学科 生活情報専攻二年 川井なつみ

現代に突如出現した恐竜の様子が印象的だったためこのシーンを選びました。  
不気味ながらも少しわくわくするような様子を表現しました。  
恐竜を初めて描いたのでなかなか新鮮で楽しかったです





「午後 of 恐竜」 川井なつみ



奨励賞

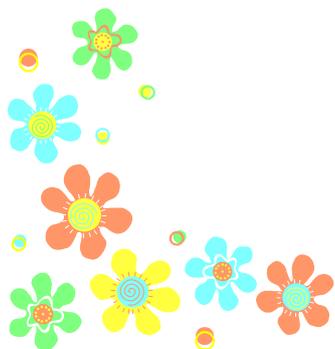
なにも言わない優しさ

読んだ本

◆ 『てぶくろを買いに』新美南吉著

生活学科 生活情報専攻 二年 佐藤真奈

「てぶくろを買いに」のなかで最も印象深いシーンだからです。小学校のころ読んだきりなのに、この場面は今でも忘れることはありません。人間に化けていない小さな子ぎつねの手に、おばあさんが何も聞かず、なにも言わず手袋を売ってあげたところを書きました。人間の手やキツネの手は描きづらく大変でした。これをきっかけにまた新美南吉作品を読もうと思いました。





「てぶくろを買いに」 佐藤真奈

## 平成 25 年度読書感想文コンクール実施要綱

### ■ 募集内容

- ・ 1 冊本を選び、読書感想文を書いてください。
- ・ 応募は未発表の原稿で、1 人につき 1 作品に限ります。
- ・ 字数は原稿用紙 2～3 枚程度とします。
- ★読書感想「画」も受け付けます。読書感想文とともに、自作の図版（スケッチ、デザイン画など）を添付して提出してください。

【図版の形式】サイズは A 4 以下。紙の選択は自由とする。

### ■ 応募資格

名古屋女子大学 学部生 短期大学部生

### ■ 応募期間

平成 25 年 6 月 3 日～9 月末日

### ■ 審査員（五十音順、敬称略）

石毛恵美枝，宇野民幸，榎本雅穂，小町谷寿子，羽澄直子，  
間瀬清美





# 平成 25 年度 読書感想文コンクール 入賞作品集

---

---

平成 25 年 12 月 20 日発行

名古屋女子大学 図書館  
〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町 3-40